

令和2年度第2回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和2年5月18日（月）

参 加：学長	半藤 英明
副学長	堤 裕昭
事務局長	斎藤 浩幸
文学部長	鈴木 元
環境共生学部長	石橋 康弘
総合管理学部長	澤田 道夫
地域連携政策センター長	丸山 泰
学術情報メディアセンター長	北原 昭男
国際教育交流センター長	レイヴィン リチャード
文学研究科長	虹林 廉
学校法人 九州ルートル学院長	内村 公春
株式会社 熊本日日新聞社 調査役	松下 純一郎

監 事：公認会計士・税理士	河喜多 保典
弁護士	本田 悟士

オブザーバー

IR室長	山田 俊
------	------

事務局：手島事務局次長、三隅教務入試課長、西嶋学生支援課長、丸山総務課長、安達学術情報メディアセンター事務長、宮本国際教育交流センター事務長、佐藤教務入試課入試班長、尾方教務入試課教務班長

1 会議概要

新型コロナウイルス感染症の感染防止及び安全確保のため、委員全員による書面による審議を実施。

事務局から、各委員に対し、審議事項の資料を配付し、意見書の回収を行ったところ、全員から「同意する」との意見を得た。その旨を議長（学長）に報告の上、案のとおりの承認とした。

また、報告事項は、資料送付とした。

2 議事

（1）審議事項

① 名誉教授称号授与について・・・資料1-1、1-2

委員からの意見概要是、以下のとおり。

【内村委員】

直接は存じ上げないが、資料1－2の推薦書を読み、授与にふさわしい方々と
思いました。

② 所定の在学期間を超えた学生の除籍について・・・資料2

事務局教務入試課からの補足説明
「例年どおりの対応を行うもの」

③ 令和2年度非常勤講師の採用について・・・資料3－1、資料3－2

委員からの意見概要は、以下のとおり。

【内村委員】

手続きを踏んで選考されていますので、異議はありません。

④ 客員教授の選考について・・・資料4－1、資料4－2

委員からの意見概要は、以下のとおり。

【内村委員】

県立高校での教職経験、また行政面での経験、そして同じ委員として交流させていただいた点。また、様々な先生方からの高い評価（特に人間性の評価を聞きました）等より、賛成します。」

【松下委員】

ふさわしい方と思います。

⑤ 令和2年度秋入学・博士後期課程・外国人留学生特別選抜における新型コロナウイルスの影響により渡航できない場合の対応について・・・資料5－1、資料5－2

事務局教務入試課からの補足説明

「前回4月20日第1回教育研究会議で御審議いただいた水銀枠の新型コロナウイルスの影響により渡航できない場合についてのインターネット環境による口頭試問の機会を付与したものを水銀枠以外の外国人留学生の特別選抜においても、追加するものです。」

委員からの意見概要は、以下のとおり。

【内村委員】

特別な状況であり、資料 5－1 の対応でいいと思います。

**⑥ 高度グローバル人材育成のための大学院教育について・・・資料 6－1、資料 6－2
事務局国際教育交流センターからの補足説明**

「国際協力・貢献活動を組み込んだ大学院教育を実施するための入試制度として、一般選抜（国際協力枠）を令和 3 年度入学者選抜から創設することについて、御審議いただくものです。」

（参考：国際協力・貢献活動を終えた者を高度グローバル人材として育成する大学院教育を実施するための入試制度として、社会人特別選抜（国際協力枠）については令和 2 年度入学者選抜から創設。）

委員からの意見概要は、以下のとおり。

【内村委員】

このような人材育成をどんどん進めていただきたく思います。

【松下委員】

仕組み手続きが難しく感じます。対象院生への丁寧な説明が必要と思われます。